

興道会だより

米沢仏教興道会 〒992-1443 米沢市大字笹野170番地 花の里内 TEL0238-38-3328 FAX0238-38-2198 発行責任者/玉木龍晃



第1回歳末助け合い募金活動 托鉢から (平成10年11月23日・透林寺本堂前)

日頃、米沢仏教興道会運営の為、多大なご協力を賜り誠に有難うございます。現在、本会は、五十一ヶ寺の賛同のもと、六十二名の会員の参加をいただいておりますが、明治二十年、各宗寺院が、互いの研鑽と社会教化をめざしたのが、始まりだと聞いております。宗旨の垣根をこえ、仏教の教えをもとにして、乳児園、保育園、老人ホーム等、一貫して運営していることも、全国的にも評価されているところであります。

私が青年会員となつてから、二十年以上の月日が過ぎました。創立の頃のこと、大正の米沢大火の罹災者の救援、戦後の激動期におけるの運営など、携わった会員の苦勞は、察するに余りありますが、大恩人と、私どもが感謝しなければならぬ外部の方々にも支えられて、今日一七七年の時をきざんでおります。当時を知る先輩各聖も、いまは少なくなつてしまいました。



米沢仏教興道会会長 玉木龍晃

発刊のご挨拶

平成14年度 事業報告

11月23日(金) 14:00~ 内容 大沼デパート~サティ方面歳末募金活動托鉢

▶ 歳末助け合い募金活動托鉢:集合・正福寺

12月11日(水) 17:30~ 内容 1.花まつり決算について 2.その他

▶ 正会員会

15年 1月28日(火) 18:00~

▶ 正会員新年顔合わせ会

3月1日(土) ▶ 機関紙「興道会だより」発刊



第74回花まつりから

平成15年度 事業計画(案)

15年 4月9日(火) 16:30

▶ 正会員総会

10月 ▶ 秋季戦没者慰霊祭

平成16年 ▶ 新年会

6月7日(土) 14:00~

▶ 花まつり:於 伝国の社

11月23日(日) ▶ 歳末助け合い募金活動托鉢

※上記の他、花まつり関係事業、検討諮問委員会、幹事会及び必要に応じて正会員会を開催。

14年 4月30日(火) 16:30~

▶ 正会員総会

5月7日(火) 14:00~ ▶ 第78回花まつり 正副部長会議

5月28日(火) 14:00~ ▶ 花まつり作業

5月13日(月)~5月21日(火) ▶ 花まつり行乞

5月29日(水) 14:00~ ▶ 正会員会

6月4日(火) 17:30~ ▶ 花まつり中間報告会

6月7日(金) 14:00~ ▶ 花まつり最終準備

6月8日(土) 14:00~ ▶ 第78回花まつり

6月19日(水) 18:00~ ▶ 花まつり反省会

7月29日(月) 18:00~ ▶ 正会員会

10月11日(金) 14:00~ ▶ 秋季戦没者慰霊祭

内容 1.平成13年度事業報告、決算報告について 2.平成14年度事業計画(案) 3.平成14年度予算案について 4.第78回花まつりについて

内容 行乞日程、免乞・灯明料、足袋代、志納金、広告料及び原稿不切、写真・宣伝車、稚児行列配布品、道路使用手続き及び保険、その他についての協議をする。

内容 書類を寺院、保育園、一般・業者に発送する。

内容 会員の皆さまのご協力をいただき、たくさんのご家庭におじゃまいたしました。ありがとうございました。

内容 1.興道北部保育園移転改築事業について 2.米沢仏教興道会会則第6条による役員選出について 3.墓地管理料について 4.その他

内容 各部門の現状について報告ありました。それぞれの役割分担を確認しました。

内容 本会で花まつりに必要な道具類などを揃えました。

内容 米沢市市民文化会館で多くの園児やご父兄の参加をいただき、盛大に開催いたしました。

内容 登府屋で次回の花まつりについて語り合いました。

内容 1.平成14年度事業全般について 2.その他

内容 常安寺さまを会処に開催いたしました。

おどがき

この度、会員皆様の強いご要望で「興道会だより」を創刊する運びとなりました。

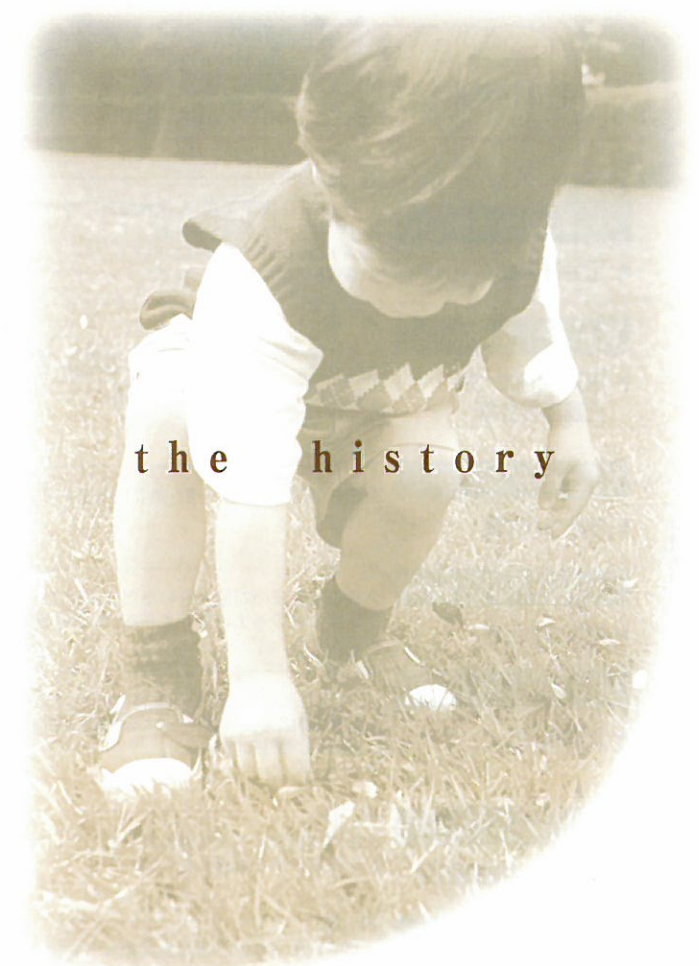
米沢仏教興道会の会報として、以前には「教友」がありました。昭和十八年に、戦争のために原紙の配給を受けることができず、休刊になり、以後再刊がありませんでした。

最初、その会報名を懐かしむ声も上がりましたが、本会のあゆみが百年を越していることや、更に大いなる飛躍を念ずる気持ちから、あえて新しい形を模索しました。尚、題字の揮毫は玉木龍晃会長にお願い致しました。

編集委員会では「何をどうするか」手探り状態が続き、悩みましたが、何とか創意工夫で解決し、ここに創刊号が完成致しました。当分は不定期刊となりますが、会員皆様のご意見をお聞きしながら、編集委員一同紙面の充実に務めていきたいと思っております。今後共、よろしくお願い申し上げます。



教化担当 越中谷 恒道



the history



興道東部保育園

園長 長谷川俊英

昭和42年6月に東部地区地域住民の強い希望により、旧下花沢上野町(現在地)に園舎を新築し、昭和43年3月30日に開所する。

興道親和乳児園
園長 五賀良和
昭和50年4月1日に現在地に創設開所する。



興道北部保育園

園長 菊池道喜

大正9年9月1日に興道第1幼稚園として創設。同年10月31日に旧北寺町西ノ丁(現在地)に園舎を新築して開所する。



興道南部保育園

園長 山王堂恵偉子

大正13年5月に旧門東町上ノ丁(現在地)に興道第3幼稚園として設立開所する。



興道西部保育園

園長 荒井良子

昭和25年6月1日に興道西部託児所として旧番正町松原寺に開所。同年8月31日に園舎を旧馬馬仲町(現在地)に新築移転する。同年10月1日に西部託児所を本会に移管する。



養護老人ホーム「星の村」

所長 楠 裕行

大正14年8月16日に旧神明片町市営長屋3棟30世帯を対象に、向上倶楽部を作り隣保事業の第1歩を踏み出す。同年8月に南北幼稚園を託児所とする。大正15年9月25日に向上倶楽部と併設する託児所施設を総合し、隣保館として開館する。昭和2年4月1日に、従来米沢市より借り受けのある神明片町市営長屋4戸と更に3棟30戸全部借り受け、小住宅を経営し、本格的に隣保事業に乗り出す。昭和11年9月16日、旧東町東京寺跡に隣保館及び母子ホームを建設し、隣保事業を拡充して養老保護者の収容等を行う。昭和22年10月1日に隣保館は生活保護(養老)施設として指定される。昭和39年4月1日に市内通町地区内に新築移転し、養護老人ホーム「ひばりが丘老人ホーム」と改称する。昭和61年4月1日に現在地に新築移転し、業務を開始する。平成11年10月1日に養護老人ホーム「星の村」と改称して現在に至る。



プチハウス

園長 藤戸伊幸

平成13年4月1日に現在地に子育て支援センターを併設し開所する。



「花の里」指定介護老人福祉施設

所長 窪 泰道

平成2年4月1日に現在地に特別養護老人ホーム「ひばりが丘老人ホーム第二」として新築し、業務を開始する。平成11年10月1日に特別養護老人ホーム「花の里」と改称して現在に至る。

現 在の八事業所と成り得るには長い年月を要しました。そこには偉大な先人達の英知の結集と苦勞があったものと思ひます。このような歴史を振り返り、先人達に負けないように本会の更なる発展に寄与していきたいものです。

米

米沢仏教興道会が発足したのは、明治二十年四月に市内各宗寺院の住職が相互の研究「米沢」が結成されたのが始まりです。明治二十一年九月には「各宗同盟」に改称され、更に明治二十三年九月十日に「米沢仏教興道会」と改称し、初めて会則を制定して役員を選出し、仏教精神に則り、世人の教化を図ることを公式に内外に発表した訳です。

本会は、大正中期の社会情勢の急変に伴い、幼児教育、隣保館の経営など社会福祉の充実に積極的のにのりだされて以来、様々な時代の要請に

応え現在まで受け継がれてきております。又、そこで培われた優れた業績は、全国でも希有の社会福祉事業団体として高く評価されています。

本会は昭和二十七年五月十七日に社会福祉法人として認可を受けて以来、現在では下記の八ヶ所の事業所を運営するまでに至りました。

米沢仏教興道会のあゆみ



八ヶ所の事業所

- 一、興道北部保育園
- 二、興道南部保育園
- 三、興道西部保育園
- 四、興道東部保育園
- 五、興道親和乳児園
- 六、プチハウス
- (子育て支援センター併設)
- 七、養護老人ホーム「星の村」
- 八、「花の里」指定介護老人福祉施設